

2026年3月26日

各位

会社名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問合せ先：管理本部長 鎌田 文明
(TEL：045-317-7888)

abc 株式会社との「AI データセンター監視技術共同開発契約」締結のお知らせ

当社は、2024年12月19日付「GFA 株式会社との AI データセンターにおける事業提携についてのお知らせ」にてお知らせした協議を継続してまいりました、abc 株式会社（旧 GFA 株式会社）（証券コード：8783、東京証券取引所スタンダード市場、以下「abc 社」といいます。）との間で、AI データセンターの安定稼働を目的とした「AI サーバーセンター向け監視技術共同開発契約」（以下「本契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、半導体先端デバイス検査に強みを有する検査装置の開発・販売・サポートを中心とした検査ソリューションを提供しております。また、検査装置から出力される大量の検査データの解析・評価に関する知見を有し、お客様の歩留まり向上に貢献してまいりました。当社はこれらのデータ解析・評価技術を、近年拡大する AI サーバーセンターの稼働状況監視分野へ応用することを検討しており、abc 社との協議を進めてまいりました。

1. 本契約締結の背景

AI データセンターにおいては、サーバーや GPU 等の故障のみならず、稼働中のクラスタ内における性能ばらつきや、電力・冷却環境等の影響により、AI ワークロードの処理効率が低下する場合があります。

このような課題に対し、当社は、AI サーバーセンターの稼働状況を継続的に把握し、異常の兆候を早期に検知してアラートを発信する監視技術の開発を進めることが重要であると判断し、abc 社との間で本契約を締結いたしました。

2. 本契約における各社の役割について

abc 社は、子会社である abc CAPITAL 株式会社を通じて AI データセンター関連事業を推進しており、AI サーバーセンターの安定稼働は重要な課題となっております。

まず同社が拡張を計画する AI サーバセンターを主な対象として、監視技術の開発を進めてまいります。

3. 本契約の内容

本契約に基づき、当社は abc 社と協力し、AI サーバーセンターの安定稼働を目的とした監視技術（以下「当該監視技術」といいます。）の開発を行います。当該監視技術は、AI サーバーセンターを構成する各ノードの稼働状況、ネットワーク、電力・冷却等に関する情報を収集・分析し、異常の兆候を早期に検知して、監視センター等に対しアラートを発信する仕組みの実現を目指すものです。なお開発した「当該監視技術」は同社と共同で市場に向けて販売をしております。加えて、当該技術の開発に合わせて、当社においても AI 技術の活用を推進し、開発業務を中心に社内は勿論、顧客サポート等への AI 導入を段階的に進めてまいります。

4. 今後の見通し

本契約に基づく取組みは、当面は開発フェーズとなる見込みであり、2026 年 12 月期の当社連結業績に与える影響は現時点では軽微であると判断しております。

今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上